

1. フレイル予防・健康づくり出前講座 <栄養>

7/10 【お寺でカフェ】 7/17 【虹の会】 7/24 【サロンベルドウムールマンション】
10/25 【あさひ北サロン】 11/29 【コミュニティのこのこ】 12/24 【かしわフレイル予防サポーターに南東部エリア】 令和7年1/15 【手賀オレンジカフェ】 終了
3/11 【たんぽぽの会】 予定

2. フレイル予防応援プログラム（フレイルハイリスク者支援）<栄養>

フレイルチェックに8個赤丸のついた方に包括作成の支援計画に基づき、アセスメント、支援を実施いたします。運動、口腔、栄養の3つの専門職種が関わります。地域包括支援課の要望により、令和5年から光が丘包括地区に重点的に入り始めております。食べることができる口を作り、栄養を摂り、運動で体力・筋力・バランスを作ることがフレイルのハイリスクを改善するということを実感していただけたらと思います。このコロナ禍において高齢者のフレイル化が心配ですので、専門職で支援していきたいと思います。

3. 自立支援介護予防個別会議及び多職種包括訪問事業

地域包括支援センターにおける介護予防ケアマネジメントの向上により、地域の高齢者がより安心して自立していけるように自立支援及び重症化予防で、地域課題を共有し、住み慣れた地域で自立した生活が送れるように支援します。食欲不振・摂食嚥下問題・体重低下など、ケアマネージャーさんからのご相談（多職種包括訪問事業<訪問B>）も増えてまいりました。こちらは直接管理栄養士が対象者様とお会いして不安や問題の解決に寄与できるようになっています。居宅療養管理指導には、契約などシステム上入れない方や、介護状況が重くなる前に介入出来るのが素晴らしいシステムですので、もっと多くのケアマネージャーさんにご利用いただき、少しでも介護度が上がる前に繋がらせていただければと思います。大病院で退院しても、在宅でどのように食事を摂っていったらよいかという案件も増えてまいりました。1/30に病院・福祉施設・在宅の管理栄養士の同職種連携の会議が行われました。各の食形態の提供の名称や形態が違うことにより患者さんのシームレスな栄養管理が難しくなっていることが問題となりました。「栄養情報提供書」を退院時支援に出していただき、在宅での高齢者の栄養が滞らないようにと今後、動いて行きたいと思います

又、同職種連携が広がり、柏市の多職種や住民に管理栄養士の顔がもっと見えるようになると思います。

4. 栄養ワンダー2024の開催

日本栄養士会の栄養の日・栄養週間の日程に合わせて行います。今年で8年目になります。今年は、「口からはじまる消化と栄養の物語」についてです。食べる、飲む、話す、歌う…毎日当たり前に使っている口は、私たちの生命維持とコミュニケーションの鍵を握る重要な拠点です。生きていくのに欠かせない「口」という器官は意外に知らないことが多いもの。今年の「栄養の日・栄養週間」はそ「口」について考えました。令和6年8月22日にパレット柏で行いました。

認定栄養ケア・ステーション柏市連絡協議会